

令和5年度 第5回下山地域会議 会議録

■日 時 令和5年8月17日(木) 午後7時00分～8時45分

■場 所 下山交流館 2階 多目的ホール

■出席者 出席 13名、欠席 2名

■内 容

1 あいさつ

2 報告・情報提供等

3 議題

(1) 分科会協議(地域課題解決事業等の検討)

分科会別発表

分科会名	分科会①…下山への愛着と誇りの醸成
事業テーマ	下山地区の魅力発信と交流人口による景観保全等
事業の目的	各地の魅力に関する情報を収集し、地区住民に積極的にPRするとともに、交流人口による景観の保全等
事業のポイント	1) 景観、自然、歴史など様々な分野や各自治区の情報について地域広報誌「WE LOVE しもやま」で情報発信 2) 公共施設を使った地域情報の発信 3) 交流人口による景観保全や地域活動の維持
事業のゴールイメージ	情報発信や景観保全活動を通して、下山住民に愛着と誇りが醸成される。

【質疑応答】

- ・活動において「オール下山」(下山にある様々な問題に対して、下山全体で各課題に向き合う体制を構築すること)で取り組むことを意識してほしい。そのために、「オール下山」の語句を文書等、いろいろな場面で意識的に使用していくようにしたほうがよいのではないかと。

また、交流人口による景観保全はトヨタ工業学園生による現在行われている活動をイメージされていると思う。アイデアとして、都市をはじめとした一般市民を広く募って景観保全等出来たらいいと思う。

- ・交流人口による景観保全は、大沼自治区で毎年トヨタ工業学園生の受入を行っており、学生たちの働きに感謝しつつ、地域に活気が生まれ良いと感じる。「オール下山」実現のためには、このような活動の下山地区全体への情報発信を工夫するべき。各自治区が互いの活動を知り、知見や資源などを共有できたら良い。

分科会名	分科会②…下山と都市との交流
事業テーマ	山村体験を通じた下山と都市との交流

事業の目的	都市住民にとって魅力的で参加しやすく、かつ継続的に参加してもらえるような山村体験イベントを企画し、実施する。
事業のポイント	<p>コンセプト：通年を通した山村体験を気軽に。</p> <p>1) 都市住民の参加しやすさの工夫。既存の取組（農ライフ創生センター等）と比べ、参加者がより気軽に参加できるように柔軟に対応する。</p> <p>2) 遊休農地や下山地区在住で技術のある人材を活用。</p> <p>3) 継続的活動とするために参加者、指導者、地域に利益をもたらす仕組み作り。</p> <p>4) 事業の宣伝、購入品のあっせん等を通じ事業者の参画を募る。</p>
事業のゴールイメージ	<p>山村体験をするなら“下山”と誰にも思ってもらえる豊富で気軽なメニューを揃えて、街の人に田舎暮らしの面白さを体験してもらおう。交流を通じて、農林業の楽しさや地域の良さを実感してもらおう。</p> <p>中長期的には、その中から定住を希望する人が出てくることを期待。</p>

【質疑応答】

・農業体験だけでなく、林業体験も検討して欲しい。また、事業のポイントで都市住民が参加しやすいように都市に近い場所での開催との言及があったが、より場所が広大な場所だからこそできるメニューもあると思うので、再考いただきたい。

⇒林業体験は協議の中で話題として出た。だからこそ農村体験ではなく、山村体験としている。

開催場所に関しては、基幹バスなど来られる参加しやすいところでひとまず参加してもらって、興味を持ってもらった場所ではなく、出来るメニューで通い続けてもらえるように誘導したいという狙いがある。

分科会名	分科会③…下山の未来に向けて
事業テーマ	下山地区住民の健康を保つための機会づくり
事業の目的	「幸齢化」社会実現に向け、年齢に関係なく参加しやすく、かつ継続的に参加してもらえるような健康イベントの企画・運営や市内で開催されている既存コンテンツとのマッチング等を実施する。
事業のポイント	<p>1) 下山の実情に沿った参加し易い運動プログラムの企画・運営</p> <p>2) 高齢期になっても自らの意思で選択し活躍できる場がある</p> <p>3) 多様な形で地域活動に関わる「関係人口」を増やす仕組みづくり</p>

事業のゴールイメージ	住み慣れた地域の中で健康づくりや市民活動が活発に行われ健康寿命が延伸している。
-------------------	---

【質疑応答】

- ・事業ポイント2)の講座は下山内に限定して開講か。
⇒下山に限定してある。

(2)「第4次豊田市森づくり基本計画に関する諮問について

ア 発表

⇒配布資料にもとに委員が発表

イ 質疑応答

⇒特に無し

ウ 市長との意見交換について

⇒各分科会から意見を集約

(3)「第9次豊田市総合計画」に関する諮問について

資料に基づいて事務局から概要を説明。

⇒9月に諮問を受けて1月に答申というスケジュールになる。短い期間であるが、理解を深めながら進めていく。

市長との意見交換について

⇒各分科会から意見を集約

4 次回に向けて

次回日程

○第6回下山地域会議 9月21日(木)

午後6時45分集合 午後7時から開会 下山交流館多目的ルーム